

緊急！ オンライン配信に変更

当日の参加が難しい方も
後日に視聴可能！

一日特別ヨーガ禅会 2022

毎年恒例の「一泊二日ヨーガ禅会」について、本年は比叡山延暦寺会館での実地開催（日帰り）を予定しておりましたが、昨今の新型コロナウイルスの急速な感染拡大を受け、急きょ「オンライン」での開催に変更いたしますのでご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

日時 8月27日(土) 10:00~12:00 開会、特別講演
12:45~15:15 ヨーガ実修とサット・サンガ

開催形態 オンライン (ZOOM) ※後日録画配信あり

オンラインではありますが、少しでも相互の交流が叶えばと考えています。

会費 3,000 円 ※会費額が変更になりました

特別講師 蓑輪 顕量(みのわ・けんりょう)先生 (東京大学大学院教授)

1960年千葉県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科単位取得満期退学。博士(文学、東京大学)。愛知学院大学教授を経て、現在、東京大学大学院人文社会系研究科教授。主な著書に『仏教瞑想論』『日本仏教史』(春秋社)、『中世初期南都戒律復興の研究』(法藏館)、『日本仏教の教理形成—法会における唱導と論義の研究』(大蔵出版)など。1999年日本印度学仏教学会賞、2000年中村元賞受賞。



【演題】ヨーガと仏教における心の観察

「瞑想」と呼ばれることが多いが、実際に行っていることから見れば、身心の観察と呼ぶことが相応しい。

その身心の観察は、インドの文化伝統の中から見いだされてきた。釈尊の伝えた初期の経典から考察すれば、その起源は、ヨーガの伝統の中に見いだすことができる。やがて、釈尊の見いだした観察の仕方は、私たちの心が次から次へと動いていく働きを静めることを可能とした。いわゆる戯論を静める効果を持つことになったのである。そこには、五蘊の分析や、言葉に関する理解が生きている。心が次から次へと動く背景に存在しているものは、行、サンスカーラと表現された。おそらくこの行を静める効果を持った観察が、サティパターンと呼ばれたと推定される。このサティパターンと呼ばれる観察方法がどのようなものであるのか、現在の事例や、東アジア世界の事例を含めながら考察する。



【参考文献】 蓑輪顕量 編『仏典とマインドフルネス—負の反応とその対処法』(臨川書店、2021年)

申込方法

次の事項をメール・FAX・電話にてお知らせのうえ、**8月19日(金)までに**下記の指定口座に会費をお振り込み下さい。

①住所 ②氏名 ③電話番号 ④メールアドレス

振込先

ゆうちょ銀行 口座番号01020-6-27099 宗教法人日本ヨーガ禅道院
【他行からの振込】 店名：一〇九店 当座0027099

・事前に配信アプリZoomのインストールと、インターネットに安定して接続できる環境での視聴準備をお願いいたします。
・Zoomの操作不慣れやインターネット接続環境が原因での視聴不全などの場合であっても、会費の返金はいたしかねます。

主催・申し込み・問い合わせ

日本ヨーガ禅道院

京都市伏見区桃山南大島町70-25

TEL:075-621-3831 (9:30~17:30)

FAX:075-621-3839

E-mail: info@yoga-zen.org

